

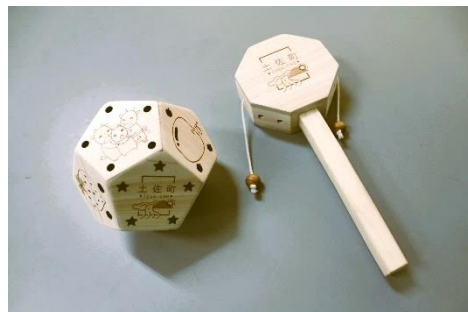
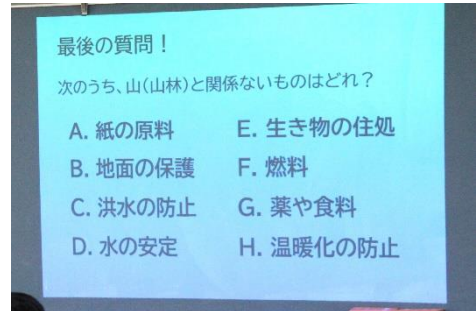
山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム	No.10 森林入門！ No.18 木工クラフト体験 No.30 S D G s で学ぶ森里川海と暮らし
学校名	土佐町立土佐町小学校
学年・生徒数	6 年 27 名
実施場所	土佐町立土佐町小学校 6 年生教室
目標	○木の特徴や特性について学ぶ。 ○間伐材を利用して、木工製品ができるまでを学ぶ。 ○木工製品を作る人の想いや S D G s、これから自分たちにできることについて学ぶ。
実施教科	総合的な学習
関連教科	社会
準備物	講話…P C、プロジェクター、スクリーン 木工…材料（ヒノキ、鈴）、ヤスリ、定規、ゴム手袋
実施項目	講話（森林の機能、土佐町の森林、S D G s とは、など） 木工（赤ちゃんのおもちゃづくり）
対象プログラム	No.10 森林入門！ No.18 木工クラフト体験 No.30 S D G s で学ぶ森里川海と暮らし
所要時間	講話 30 分程度、木工 90 分程度
実施内容	・講話（森林の機能、土佐町の森林、S D G s とは、など） 講師挨拶の後、まず、「S D G s とは」について説明された。S D G s を別の表現に変えて、子ども達にわかりやすく伝えていた。 次に、森林クイズ（土佐町の森林面積、人口林率など）が出題された。「森林と関係のある事ないこと」は、「紙の原料、洪水防止、生き物の住処、燃料」などの選択肢が出された。森林資源が暮らしの中で様々なことに活かされていることを知ることができた。特に、児童らは「薬や飲料に活用される」ことに驚いていた。 また、土佐町ならではの早明浦ダムの話もあった。講師は「ダムには水の供給や災害防止などの役割があり、早明浦ダムは四国の人々のいのちを支えている。早明浦ダムがある町に生まれ育ったことを誇りに思っている。」と話していた。 ・木工（赤ちゃんのおもちゃづくり「でんでん太鼓」） 講師挨拶後、でんでん太鼓のキット（桧）、ヤスリ、ゴム手袋が児童に一つずつ配られた。まず、握る棒（本体に差し込む部分）をヤスリで削る作業を行った。講師が「削りすぎたり、並行になっていなかったり、1mm でもずれると上手く固定できないため慎重に作業すること。赤ちゃんが使うことを想像して丁寧に扱うこと。」などの説明があった。

本体に鈴を入れ、棒は木工ボンドで固定し、固まったら、目の細かいヤスリで全体の角を取る作業等を行った。児童らは「削るだけと思っていたが思ったより時間がかかった。」と話していた。

作業終了後、講師から、間伐材を利用する意味（間引かれて無駄になるのではなく、全て活かせる大切な資源）、ものを大切にする気持ちを持ってほしい、といった話があった。

実施風景



補足
その他、プログラムの
特徴

・土佐町役場企画振興課内に「SDG s 推進室」がある。山林を軸にした水源保全及び涵養と脱炭素推進（地方創生・グリーンアクセラレーター構築事業）などに取り組んでいる。

・木工の「でんでん太鼓」制作は、1～2学期に木の特性等を学び、児童らが自らアイデアを出し合って決めている。今年度の乳児健診の際に新生児にプレゼントされる。